

令和 6 年（2024 年）度 社会福祉法人姫戸福祉会事業報告書

I. 理事会・評議員会の開催、及び監事監査の実施等

【1】 理事会の開催

日時・出席者等	議 案
第 1 回 理事会 ○書面による開催の通知 令和 6 年 4 月 14 日 ○決議があったとみなされた日 令和 6 年 4 月 15 日 理事 6 名の同意、監事 2 名の確認	議案第 1 号 職員の懲戒処分について
第 2 回 理事会 ○開催の通知 令和 6 年 5 月 28 日 ○開催日 令和 6 年 6 月 8 日 午後 2 時～3 時 50 分 ○出席者 理事 6 名、監事 2 名	議案第 1 号 令和 5 年度事業報告（案）の承認について 議案第 2 号 令和 5 年度決算（案）の承認について 議案第 3 号 令和 5 年度監事監査報告について 議案第 4 号 評議員会の開催日時及び場所の決定について 議案第 5 号 評議員会の目的及び議案の概要の決定について
第 3 回 理事会 ○開催の通知 令和 6 年 9 月 28 日 ○開催日 令和 6 年 10 月 9 日 午後 2 時～3 時 15 分 ○出席者 理事 5 名、監事 1 名	議案第 1 号 令和 6 年度第 1 次資金収支補正予算書（案）について 議案第 2 号 給与規程の改正について 議案第 3 号 非常勤職員給与規程の改正について 議案第 4 号 施設長職務代理者の選任について 議案第 5 号 理事長の職務執行状況の報告について
第 4 回 理事会 ○開催の通知 令和 7 年 3 月 14 日 ○開催日 令和 7 年 3 月 29 日 午後 2 時～3 時 55 分 ○出席者 理事 6 名、監事 2 名	議案第 1 号 令和 6 年度資金収支最終補正予算書（案）について 議案第 2 号 令和 7 年度社会福祉法人姫戸福祉会事業経営計画（案）について 議案第 3 号 令和 7 年度社会福祉法人姫戸福祉会資金収支予算書（案）について 議案第 4 号 継続契約の確認について 議案第 5 号 理事長の職務の執行状況の報告について

【2】評議員会の開催

日時・出席者等	議 案
第1回 評議員会 ○開催の通知 令和6年6月10日 ○開催日 令和6年6月22日 10時～11時30分 ○出席者 評議員5名	議案第1号 令和5年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認、並びに令和5年度事業報告について

【3】監事監査の実施

日時・出席者等	監 査 項 目
○開催の通知 令和6年5月31日 （姫福発第49号） ○監査の実施日 令和6年6月7日 ○監査報告書の提出日 令和6年6月8日 監事：本田明男・山下保	社会福祉法第45条の18、28及び関係法令に基づき、令和4年度事業に係る理事の業務の執行の状況及び法人の財産の状況

Ⅱ. 部門別実績報告

(1) ヒヤリハット報告書

(1)ヒヤリ・はっと 実績報告

月	総 務		特養(従来型)		特養(ユニット型)		通所介護		訪問介護		栄養課	
	件数	データ分析	件数	データ分析	件数	データ分析	件数	データ分析	件数	データ分析	件数	データ分析
4月	0		84	○	14	○	45	○	37	0	17	○
5月	0		116	○	46	○	31	○	28	0	19	○
6月	0		94	○	49	○	46	○	28	0	18	○
7月	2		86	○	47	○	75	○	35	0	18	○
8月	5		63	○	26	○	72	○	29	0	15	○
9月	0		54	○	38	○	78	○	29	0	34	○
10月	0		74	○	52	○	41	○	15	0	11	○
11月	0		66	○	22	○	68	○	28	0	12	○
12月	2		112	○	24	○	85	○	22	0	28	○
1月	1		102	○	20	○	68	○	18	0	18	○
2月	1		71	○	41	○	60	○	18	0	10	○
3月	0		43	○	25	○	54	○	19	0	13	○
平均	1	回	80	12回	34	12回	60	12回	26	回	18	12回
評価	入所(居)者様の転倒リスクや食事リスクに関すること、施設等の環境整備に関すること等のヒヤリはっとが挙げられた。		報告件数も多く上がり、事故に繋げる事もできたが、対応が遅れ事故につながったこともあった。特に、センサーの電源が切れていた等の設備に関しての報告後に対応遅れがあったと思うので、設備関連のヒヤリはっとは迅速に対応していきたい。また報告文章がわかりにくい事も多いので、記入時は皆にわかるよう介入の仕方の指導をしていきたい。		入居者様の全体的な重度化や入れ替わりもあってか、ヒヤリ・はっとの発生件数は昨年度より少なかったが、11月に居室で日中の排泄時に移動される際、転倒による骨折が1件あった。ほかには福祉用具、介助補助具の活用、また移動、移乗介助の評価や見直しを行った結果、表皮剥離や症等は激減した。その他、対応が必要な案件に対しては、迅速に、その都度対応はできていた。しかし予防・是正処置報告書等が少ないが対応はできていない。しかし報告書の作成ができていない為、報告書の作成ができる体制を整えていく。		毎日のミーティングやフロア会議で、ヒヤリはっとの検討を行い、事故の予防に努めた。リスクの高い件に関しては継続的に検討しながら再発予防につなげている。また、環境面での改善も行いながら事故等の予防につなげている		・内服薬は薬カレンダーを使用しておられるが飲み忘れや管理ができない利用者様があった。 ・夏場のエアコンのリモコンボタンの押し間違いで暖房になっていたり、温度設定が高くなっていたりしていた。 ・家族の方も時々帰省され買物や様子を見に来られている。		朝のミーティングで報告し、フロア会議で毎月検討を行った。報告者の偏りがある。	

(2) 不適合サービス報告

②従来型特養

月	事故・苦情・意見の別	概 要	処 置 等
5月	インシデント	中松職員(デイ)より、面会による内線電話を頂く。2階ホールの介護職員へ伝えようと2階に上がって来られるとの言葉あり、20分～30分後に再度、堀江職員(デイ)から●●様のご家族様が待っておられると内線ある。すぐに介護職員(渡邊)が迎え、お待たせした事について謝罪を行う。	・土曜日での面会について、通所職員から連絡受けたら、従来型職員が1階まで降り対応する。 ・玄関口で受け入れした時に場所や人数の確認を行う。 ・デイ職員より受け入れ連絡があったら、2階職員で玄関まで伺い検温など行い案内する。
5月	アクシデント	てんかん様の発作あり、上天草総合病院に救急搬送実施。症候性てんかんの疑いで入院となる。翌日、ご家族より、病院から骨折の連絡あったとの電話連絡あり、右大腿骨転子部骨折が判明する	・移乗は身体に負荷がかかりやすい為、2名介助を継続する ・移乗する際は本人様の特性にあった介助手順を定め、全職員が統一したケアをできるように周知、訓練する ・入浴や排泄交換時は大腿部等の骨折好発部位の目視を行い、異常がある際には早期に受診等の対応を行う
6月	インシデント	令和6年6月4日0時29分、中田介護職員がパット交換中に、●●様の抵抗が激しく横向きにしてパット交換しようとした際、柵に顔をぶつけさせてしまう。その時は異常無かったが翌朝確認すると右目周りにアザが出来ていた。その後様子観察し特にお変わりなかった。 ▲▲様(娘)へ、花田より状況報告し、状況報告と謝罪を行う。▲▲様(娘さん)からは「大声や拒否等、その時の状況が想像できます。ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いします」と労いのお言葉頂く。	①☑介護の基本として、ケアを行う前には目線を合わせ、丁寧に説明を行う。 また拒否が見られた場合、時間をずらしたり、すべての介助を2名で対応する。 ②☑業務に追われ、ケアが雑にならないよう業務改善していく。 (毎月のフロア会議で改善点を挙げ、継続して改善へ取り組んで行く) ・勤続年数や部署滞在年数を考慮し、人事異動を定期的に行う。そして同時に、どの部署でもすぐに対応でき、施設全体でどの部署でも対応出来る環境作りが必要ではないか。 ③☑起きていらっしゃる時はポータブルトイレかトイレへ誘導を行う。 ④☑拒否があった時は無理して一人で対応しようとせず、また周りから大声や悲鳴が聞こえたり気づいた時には、他の職員が迅速に、また積極的に介入する。 ・職員は「入居者様のためだから」「決まりだから」の使命感や「介助が遅れている」等介護職員主体の考えや思いから、拒否があっても無理に介助を行っていた部分がある。そこを徹底的に見直し、どんなに入居者様の為であっても、命に関わる場合を除き、無理強いや拒否された介助は行わない風土を作る。(毎月のフロア会議で上記のようなケアが行われていないか聞き取り、意見を出し合い、その都度対応する。)

6月	インシデント	令和6年6月3日(月)4時24分 起きられ居室ベッドで端座位頻回。眠れない様子なので起きて頂き、ホールソファに誘導。同時時間帯に●●様も端座位頻回でセンサーが鳴り、起きて頂こうと起床介助を行っている際、ホールから「ドスン」と音がして向かうと、ソファ前でうつ伏せの状態であっていた。ソファに移乗し状態確認すると、鼻上を5mm程傷があり出血しておられた。その他の外傷や痛み訴えない。河野職員に電話するが不在(気づかなかった)カットバン貼付で処置実施。朝、山本看護師出勤時に報告し、ガーゼ処置実施。	①□夜間は職員も2名しかおらず、他入居者様の対応等ある為、転倒のリスクが高い事を考慮し、状態(夜間で、他入居者様の状況に応じて等)床にマットを敷き休んで頂く。 ・昼夜逆転の生活リズムの為、夜間浅眠の状態が多い。日中の活動量(散歩や関わり等)を増やし、生活リズムを整える。 ②□起きられた際、排泄の声掛けを行う。 ・毎月のフロア会議、もしくはその日の状態に応じ、対応を迅速に協議し、転倒予防に努める。(継続して取り組む)
6月	アクシデント	令和6年6月3日9時20分、山本看護師が血圧測定時、右手第1指付け根～第1関節までに内出血・腫脹・軽度の熱感を発見する。触ると痛みあり。竹中医師、施設長へ報告し、上天草総合病院受診の運びとなる。レントゲンにて診断結果は右手第1指の剥離骨折と診断。親指が手背の方に負荷が掛かって出来たものと考えられるとの事。また服の袖にも掛かり出来る可能性があるとの事。痛み止め処方と2週間後に経過受診の指示ある。	・着脱介助時に、親指が服に掛かり骨折した可能性がある。 ・移動介助、もしくは移乗介助時に介助者が手を握り、負荷が掛かり骨折した可能性がある。 ・歩行時ふらつきあるので、職員が歩行介助しているが、ふらつかれた時に職員が手を強く握り骨折された可能性がある。 ・夜間排泄交換時に柵を握られ、体の向きを変える際、柵を握ったまま無理に向きを変えようとした時、負荷が掛かり骨折された可能性がある。 ・排泄交換時、無理に体の向きを変えようすると、柵をにぎられる可能性がある。その時に負荷が掛かり骨折された可能性がある。 ・自力にてソファから立ち上がろうと何度もされる事がある。その時手の平(特に手の腹の親指付け根部分)を支えに身体を前後に揺さぶられるが、その時に負荷が掛かり骨折された可能性がある。 ・右手をおしりの下に敷きこまれ、負荷がかかった可能性がある。

6月	インシデント	令和6年6月1日(土)9時23分 デイサービス中松職員より内線にて、●●●●様の娘氏より電話連絡あり「ショートのお迎えが遅いのですがまだですか?」との問い合わせある。 従来型へ確認すると中田職員が送迎に出たとの返答あり、ご家族へ謝罪したうえで出発済みであることをお伝えし了承頂く。 その後の確認にて9:00着の●●●●様に対し9:20過ぎに出発していた状況だった。	・迎えの電話に出られなかった場合は、他職員に申し送りを行い、時間をずらして再度連絡を入れる。 ・迎えの段取りを設定する際、今まで1名で行っていたが、2名体制にする等行い、遅れの無いように努める。 ・本人様に連絡が取れない場合は、いらっしゃる親族の方に連絡を入れる。 ・送迎の遅延が発生すると分かった時点で、事前に謝罪も含めた連絡を入れる。 ・短期入所開始前に、送迎では遅れる事があると事前にお知らせしておく。 ・迎えの際、自宅でのトラブル(準備してない、いらっしゃる等)が起こることが予測でき、遅れる事もあるという事をあらかじめお知らせしておく。そのことでお待たせする事にご理解いただく体制を作る。またお迎え時、遅れそうな事が予測出来た時点で施設に一報いれ、遅れる事を電話連絡してもらう。 ・送迎時間を9時～9時半目安にし、当日9時に電話し何時ごろになるか伝える(ご家族の受診等で9時に迎えに来てほしい等の要望は事前に連絡して頂くように、ご家族に依頼する)。 ・迎えの目安時間の変更についてご家族に電話連絡する(定期利用の方) ・町外の利用者様も増えており、小西相談員にも手伝ってもらっている状況。今後特養だけの送迎ではなく、デイサービスやヘルパー等、施設全体で送迎をバックアップできないか検討する。
6月	インシデント	隣の方の物品を取る為に職員が上の棚を開けた際、毛布が落ちてきてテレビが倒れ柵にあたっただけで倒れ●●●●様の腕にあたった。痛み外傷なかったが、テレビの画面が割れ目は確認できないが3分の2程度映らなくなり故障した。看護師、花田主任へ報告。ご家族へ電話にて謝罪し、翌日面会時、花田職員より謝罪と再発予防、故障したテレビの弁償について説明させていただく。	・上の棚を開ける時は近くに人がいないことを確認する。 ・テレビなど倒れるものはテレビ台に固定する。 (●●●●様、▲▲様も同様の対応を行う)
7月	インシデント	居室のセンサー作動し、訪室するとベッド端座位されており、右足の脛付近を1×1cmの表皮剥離されていた。 山本看護師に処置を依頼し、ラップキュアとガーゼにて保護実施。	・入浴後には必ずけが予防の為にレッグウォーマーを着用する。 ・居室を「ゆり」に変更し、畳にマットを使用し、剥離等の予防に努める。 ・ナースコール等のコードもヒヤリはつとに繋がっていたので同様の対応をする。 (追記) 7月11日にセンサーのコードを首に巻いていらつしやうと報告ありセンサー撤去し敷きマット2枚に変更する。また見守りセンサーのカメラを設置する。。
7月	インシデント	昼食の為に離床介助を行いテーブルに移動し車椅子ブレーキを掛ける時、右腕に5cm×3cm表皮剥離を発見する。山本看護師に報告し処置して頂く。	車椅子移乗時は必ず両腕や他の身体の安全確認を行い、移乗後も確認する様気を付ける。

8月	インシデント	従来型特養ホールにて仏参体操後、車いす乗車中に前のめりで転落された。すぐに山本看護職員に報告、確認すると前額部・鼻の上打ったようで、前額部5cm×5cm程の内出血あり。鼻の上には5mm程の傷あり、血液にじみ出ている。可動域の痛みや吐き気、意識消失ない。介助にて車いすへ移乗して頂く。杉畠看護師から妻に電話にて連絡。その後様子観察。特変なし。	・仏参、体操前に姿勢を整える。 ・仏参、体操時はテーブルをセットする。 ・転倒のリスクが高い事を周知し、見守りを強化する。
8月	苦情(要望)	清掃員より「●●様が今日は部屋がなかったと少し不機嫌そうに言われています。」との報告あり。●●様にお話を伺うと「私も部屋がなかったけど、もう一人の人も部屋がないからソファでずっとソファで寝てみたい。○○さんはちゃんと部屋があるのに。」と話された。確認すると業務予定には●●様はききょうのききょうになっていたが、本日退院された入所者様がききょうに入られていた。	・毎朝のミーティングにて、ショート入所、退所、薬等の特変事項を周知する ・ショート利用者の居室にネームプレートを貼る担当を決める。 ・ショート入所時に居室までの案内をする。担当を決める。 ・退院が決まったら、当日に居室を決めず、事前に決めて被らない様にする ・看護・介護どちらも、ショートの方に限らず居室の把握をする。
8月	意見	マーガレット居室の前で、川端職員より呼び止められる。●●様のベッドを指さされ、「危ないと思います」と言われる。ベッド柵が逆さに立てかけてあった。また、「きれいにしとったと」とベッドを見て言われる。誰かが休んだ後のように、枕は使ったままで、タオルケットは皺があった。川端職員からの意見として挙げる。	・休憩する時は、入居者様のベッドは使用せず、空いているベッドで休むようにする。 ・ベッド柵に限らず、安全への認識を高め、物品の整理整頓に努める。 ・清掃や片づけ等は、川端職員や鉈落職員だけがするのではなく、職員全員が「5S」の認識を持つようにする。
9月	インシデント	昼食介助中に手を見ると、右肘付近に0.5cm×2cm程の表皮剥離を発見する。傷は乾いていなかった、少量、出血ある。坂口看護師に処置を依頼する。	移乗介助はスライディングボードを活用し、2名にてスライドで移乗する。皮膚の乾燥を防ぐために、ローション塗布する。内出血の場所は看護にフィルムを貼ってもらえるよう依頼する。
9月	インシデント	・9月19日デイ利用で迎えに行った職員に、前回ショート利用後に、ご家族がデイポーチ確認した際、ノバルジンが2錠残っていたと話された。とデイ堀江看護職員より報告あり。 ・前回ショートご利用時服用されたかを確認あり、9月13・14日に持参のヒート入りのノバルジンを準備しておらず、服用されていない事が発覚した。 ・ご家族に状況について説明し謝罪。主治医に報告する。	・定期利用の方でも、新しい薬が開始になった際は、ご家族に薬情報の持参やセットしてきてもらう、入れ物がはっきりわかる物に統一して持参して頂くようお願いするなどの工夫で準備忘れを防止する。 ・定期利用の方で、薬内容の変更があった事の申し送りや薬情報を確認した際は、必ず口頭とケアカルテに申し送りをする。また薬情報のコピーをする。
9月	インシデント	ききょう居室より歩行器でホールまで歩かれた際に「ドン」という音がしたため見ると、床に左腕を下にして転倒されていた。歩行器が机の脚にあたって転倒したと話される。確認すると、左腕を剥離されていた。他には痛い所はどこもないか尋ねると左の臀部辺りも少し痛みの訴えあり。山本看護師へ報告処置実施。左肘にコの字に1.5cm×1.5cmの表皮剥離。皮膚保護剤貼付し、洗浄・軟膏塗布・ラップキュア保護の処置する。その後、花田主任よりご家族(●●様)に電話にて状況を報告し、謝罪する。	・南側リビングの担当制度を見直し、常時1名の職員を配置する。 ・ショート利用の方が少ない時でも、担当者は南側に常時配置する。

10月	インシデント	バイタル測定に何うと右前腕(手首の付け根)付近に3センチ程の表皮剥離発見する。パット交換を対応した際には気づかなかったとの事。出血なし乾燥していた。写真撮影後、看護職員に連絡行い処置依頼する。	・内出血カ所の把握と保護。 ・入浴時は全身状態の確認、乾燥予防のために保湿剤使用。 ・介助する際は皮膚を引っ張らない、拘縮が強い方なので特に注意する。
10月	インシデント	食事終了後に姿勢不良あり、リクライニングイスと肘乗せサポートの間に右腕が挟まっている状態である。姿勢を直そうと腕を上上げる時に肘のせに当たり剥離(2cmほどの円形状)させてしまった。食事後の臥床介助時に気づき看護職員へ報告し処置していただく。	・姿勢不良時は、肘乗せを下に降ろした状態で姿勢を整えるようにする。 ・姿勢不良時は、2名による介助し整えるようにする。
11月	苦情(意見)	通所堀江看護師より、ご利用中の●●様が「ショート利用時、目薬を1回～2回しかしてくれない。職員さんには言うのも気の毒だから言っていない」と話され、坂口看護師と花田まで報告連絡ある。●●様の目薬は1日3回～5回の点眼で、坂口看護師に確認すると、日中10時と14時はしているが、看護師不在時はできていない時があるかもしれないとの事だった。また9月にも同様のご意見頂いていたが対応出来ていなかった。本人様に謝罪を行い、今後このような事が無いようお伝えする。	・目薬も服薬と同様チェック表を作成し、看護職と連携して実施する。 ・(日中看護職不在時でも対応出来るように) ・担当者は普通Cとする。 ・毎回利用時に、看護師から薬同様目薬もある事を周知する。 ・点眼手順の指導を介護職に実施する。
12月	苦情(意見)	●●●●様が22日16時頃来苑、施設玄関にて花田が会うが、丁度ショート退所の準備中にて「よかよか、大したことじゃなかけん」と帰られる。翌日電話にて再度要件をお伺いする。21日夫婦面会時21日(土)15時30分頃面会された時、居室の流し前に腹ばいの状態でいらっしゃったとの事。「絵美ちゃんから大声あり、おやつはまだです。大声がひどいのでまだ起きてもらっていません。薬を増やしました。今から介護職員がお茶を準備します」と聞いた。その時夫は表情険しくなったが何も言わなかった。しかし翌日「おら花ちゃんに意見せんばん」と言ってきた。その時の顔が非常に険しく、怒っているようだったので、施設の皆さんもお母さんの大声で大変だし迷惑かけているんだからやめる様に言ったんだけど「なん、おら怒っとつとじゃなか、今度行った時に意見するだけ」と聞かなかった。だから先に花田さんの耳に入れておこうと思い連絡したとの事だった。またその後もしばらく話を何うと「最近タンスの衣類間違いが続いている」との意見も頂いた。今後対策を検討し、このようなことが無いよう謝罪する。また翌日、畳の上に敷くカーペットを持ってきてくださり、事務所に預けてすぐに帰られたので、カーペットを敷いて、居室にタンスを設置した居室の写真を持参しご自宅へ訪問、●●様にお会いし詳しくお話を伺い、謝罪を行う。	・居室にはご持参いただいたカーペットを設置。寒くないよう布団からでられても寒くないようにする。 ・大声がある時は、いつもの事と安易に考えず、訪室し、布団から出ておられる時は掛け布団を掛けたり、場合によってはすぐに起きて頂く様関わりを増やす意識を持つ。 ・大声時等、いつもの事と思わず、職員が関わり、その時で考え対応する 意識付けを行う。(他入居者様も同様) ・食事前等、空腹やのどの渇きも考え、お預かりしているお茶菓子や飲料を提供する。 ・●●様が居室で腹ばいに寝ていらっしゃる姿に危機感を持つ感覚を取り戻す意識付けを12月フロア会議で行う。 ・居室にタンスを変更、設置し、衣類の間違いを予防する。

1月	アクシデント	8時40分、朝食後の薬を配薬中に●●様の薬がなく、▲▲様の薬が残っていた為、▲▲様の食事介助に入っていた松江職員に確認すると、●●様の薬と間違え誤薬させた事に気づく。杉嶋看護職員に報告にて指示を仰ぐ。▲▲様はご自分の薬は服用せず、様子観察の指示あり対応する。その後特にお変わりなく過ごされる。 翌日、ご家族様、竹中医師、施設長、小西相談員に報告されていない事がわかり、花田から関係者に報告。またご家族様にも体調お変わりない事、報告が遅れた事、再発防止に努める事を報告、謝罪する。息子さんからは「父に何もないならいいです。」との事だった。	・服薬マニュアルに沿った、日付・名前・時間の復唱を行う。 ・日付、名前、時間の復唱をしていない職員が要する時は相互注意を行うようにする。 ・毎月にチーム会議、フロア会議で啓発を行う。 ・不適合報告書は、当日作成し部署主任に提出する。また「発生状況及び対応」「考えられる主な原因」だけでもよいので提出する。 ・マニュアルを整備し、事後の報告体制を明確化させる。また全職員へ周知する。
1月	インシデント	起床介助の為、訪室すると左足がベッド柵に当たっており脛部分2ヶ所が表皮剥離しているのを発見する。すでに出血は止まっていたので朝、出勤してきた杉嶋看護師に報告・処置していただく。また山下施設長に、報告を行う。	・夜間落ち着かれない時は職員も普段より多めに訪室、様子を伺う。 ・皮膚が脆く、剥離しやすいので、ベッド柵の場所に気をつける。 ・足を降ろしていない時でも、足や腕など傷になりやすい場所は介助等気を付ける。 ・柵にタオルマットを覆い、柵での怪我を予防する。
1月	インシデント	便失禁あり着替え実施する為上着を脱いで貰うと左上腕部の内出血箇所を剥離されている。(8cm×5cm)出血はなくすでに乾燥していた。いつ剥離されたのかは不明。肌着、上着に出血跡ある。本人様も痛みの訴え等なし。看護師報告行い、写真を撮る。また山下施設長に報告を行う。	・皮膚状態が悪く内出血もできやすい状況の為、皮膚の状態観察を頻繁に行う。 ・内出血箇所があれば看護師へ報告し保護を依頼する。 ・入浴時、失禁され着替えを行う時にしか上半身の皮膚状態が確認出来ない状況にある為排泄介助時にも上半身の確認を行う。 ・移乗介助は2名で行う。 ・リビングで、リクライニング車椅子に休んで頂くのではなく、生活にもメリハリを付ける為に居室で休んで頂く。

1月	インシデント	居室より「●●●●、●●●●」という声が聞こえ訪室。居室入口に座って居られる▲▲様を発見する。痛みの確認をして車椅子に移す。車椅子へ移乗後、▲▲様から左腕がめくれたから洋服をまくってくれと言われる。洋服をまくると左腕(13cm×5cm)の表皮剥離をしておられる。杉嶋看護師へ報告し処置をして頂く。	・内出血箇所があれば、看護師へ報告し保護を依頼する。 ・内出血等発見時は毎回記録し、情報共有してその部位に配慮した介助を行う。 ・新規入居者、短期入所利用者様の対応について、記録を充実させ、情報共有に努める。 ・立ち上がり時、手を合わせて握られるので、脇に力が入られる。その為、職員の腕と摩擦が生まれるので、職人を掴まて頂く。(左腕) ・移乗介助は可能な限り2名で行う。 →職員同士のコミュニケーションを円滑に行う ・ベッドは低床にし、柵の位置は頭側にする。 →柵を一番上にすることで、下から降りられた時にセンサーが作動するため。 ・眠い様子で無いときは、職員の都合で休んでもらう事がないようにする。また臀部の様子も良くないので休んで頂いたと思うが、リビングでソファに座って頂く等、その時の状況に応じて臨機応変に対応する。 →今回の「臀部の状態が悪化しないよう休んで頂く」と安易に考えず、その後 眠くないのにベッドで休めばベッドから起きる可能性が高い」とい所まで考えられるよう、リスクを周知し共有する。 ・床にマットを敷く。(降りられても、怪我が無いよう) ・足にも十分力が入るので、ベッドの高さを調整し、声かけを行い、左側を中心に柵やベッドを握って頂き、移乗、立位の介助を行う。できるだけ職員は力を入れない介助を行う。 →1月24日の職員研修終了後、介助方法等を周知する。 →立位は可能だが、足の向きを変えることが困難なので、声かけ補助を行う。
1月	インシデント	移乗介助時、サイドレールの端に脛が当たり圧迫し、2ヶ所内出血し剥離しているのを発見。(どちらも縦×横0.5cm)看護師に状況と箇所の報告を行う。(処置不要)	・声が聞こえたら、すぐに訪室し傾聴を行う。 ・排泄交換時、移乗時、体位変換時、身体がベッドの中心になるよう介護する。 ・サイドレールに厚手の生地のカバーを設置する。
1月	インシデント	起床声かけの為訪室。右側臥位の状態で両足(膝から下)をベッドから下ろした状態でいらっしゃる。(足は床まで届いていなかったのので、センサーは作動していない)失禁し衣類まで濡れており、ズボンを脱いでおられ、右脛に縦8cm×横2cm(一番広い箇所)の表皮剥離を発見する。坂口看護師へ報告。処置実施	・就寝時に、衣類の上から大きく厚めの生地のレッグウォーマーを着用する。 ・夜間様子観察の仕方(頻度や対象者)を決め、周知する。 (夜間2時間おきの様子観察。) ・(●●●●様、▲▲▲▲様、■様は状況に応じ状態観察を増やす) ・夜間記録の充実を周知する。
2月	インシデント	ナースコールが鳴り訪室すると、右手親指の付け根に4cm大(別紙写真)の表皮剥離を発見。看護師に状況報告し、応急処置と清拭を行う。血痕はドローシートと左手に付着しており乾いて固まっていた。	・足と同様、就寝時は手袋を着用する。 ・就寝中の巡回時、覚醒時には排泄等伺い、トイレ誘導実施する。または起きたいとの訴え時は起きて頂き、リビングへ誘導する。 ・就寝時、皮膚保護の為に両手、両足にウォーマーを着用する。(別紙写真) ・昼は看護師が、夜は普通Cが両前腕、両下腿に保湿クリームを塗る。

2月	インシデント	17日14時に薬を返し忘れていた事に気づく。デサীবイス送迎時に薬の返却依頼するが中松訓練員より「薬の返し忘れで朝、昼の薬があったのであれば服用されていないのではないかと指摘を受け、ご自宅連絡に連絡、自宅には残薬なく、17日の朝と昼に服薬はされていなかった。ご自宅に薬を届け謝罪する。息子様も「はいわかりました。」と、返事いただく。	・入所時の物品確認時、薬があるかのチェックを行う。 (退所分、塗り薬、吸入器、下剤、湿布等) ・退所時の物品確認時、介護職からも看護職へ確認を行う。
2月	インシデント	令和6年11月16日7時 起床時に居室にて起床介助時に義歯を外しておられる。上義歯は布団にあったが下の歯が見当たらず服や布団の中にもなかった。その後、上着をきて頂く際に袖から入れ歯を発見する 令和6年12月7日7時30分 口腔ケア時に下の入れ歯が無いと報告を受ける。探す1階厨房残飯の中から見つける。消毒しお預かりする。 令和7年1月18日8時32分 川端職員より居室に義歯が落ちていたと報告あり。 合計3で件同様の入れ歯一時紛失ある。	・夜間就寝時、入れ歯をお預かりし、管理の徹底を行う。 (預かり拒否時は申し送りをおこない、職員で情報共有し入れ歯の所在管理を徹底する。 ・下膳時は、トレイに入れ歯等ないか確認する。
2月	インシデント	「口腔介助時、上義歯がはめていない事に気付く」と和田職員の記録あるが、詳細は従来型職員(誰かは不明)から電話あり、●●様の入れ歯がないとの事で確認すると、重ねてあった食器の間に入れ歯あったという事だった。詳細を聞いたのは2月18日で、宮崎栄養士より報告を受けた。	・食事前と食後の入歯の管理を徹底する。 ・口腔ケア後の入歯の確認を行う。 ・口腔ケアを拒否された時は、時間を空けて再度声かけし、それでも拒否された時は、申送りを行い、職員同士で周知する。 ・下膳時、トレイの中を確認する。
2月	アクシデント	夕食後、中央トイレ前にて押し車に座ろうとされ、そのまま右臀部を下にするような形で転倒される。本人様「痛い」と訴えあり。トイレの訴えもあったため車椅子でトイレ誘導実施。トイレでの立ち上がりは問題ない様子だった。右大腿部付近に内出血あり。看護に報告行い、今夜一晩様子を見て痛みがあるようなら受診検討行いと指示あり。ご家族にも同様に報告行い謝罪行う。	・トイレ前に椅子を設置する。 ・退院後、歩行可能であれば現在使用している押し車ではなく、別の歩行器の使用を検討する。 ・食後中央トイレは混雑するため、井手口様に優先し使用して頂く。他の方が使用されている場合は別のトイレに誘導する。 ・トイレ時は付き添い、見守り実施する。 ・フロア会議を近日中に実施し、転倒リスクの高い方とその場面を話し合い、職員同士で対応を共有する。

2月	意見・苦情	(森枝) 面会に来られたので1階居室「チューリップ」に案内するが、入ってすぐ「ここで面会するんですか、物置じゃないんですか、せっかく予約して来てるんですけどここじゃあんまりです。施設長に言うて下さい」と強い口調で話される。面会はいつも家庭介護者教室で実施していたが、施設長来客対応で使用中だった為、面会場所を居室の「チューリップ」に変更されていた。●●様(夫)に状況の説明するが納得されず謝罪した。しかし興奮治まらない。花田主任に報告して対応して頂く。 (花田) 状況を再度説明し、謝罪する。最初は興奮強く、森枝職員の報告と同様の言葉を何度も話される。しばらく話を伺い、落ち着かれ話をして下さるようになるも最後に「施設長はいるんですか？」との事で、施設長へ状況報告し、対応を依頼する。 ・「こっちは予約までしてきています。お客様の対応をこの部屋でできますか？この部屋ではできないでしょ？そういうのであればこの部屋でお客様の対応をすればいいではないですか」 ・「あなたたちは感覚がおかしい。テーブルもないような所が面会させて、どうみても物置じゃないですか？」	・このご意見を期に、今後居室面会制限等あり、家庭介護者教室も使えない時があった場合、面会にふさわしい場所かの判断を行い、場所の確保がすぐにできるよう、空いている居室でも整理整頓を行う。また施設長より在宅会議室、ユニット1階と地域交流スペース他、施設全体の整理整頓を行うよう指示ある。 ・3月2日より居室面会再開されるので、居室のホールの整理整頓に努める。
2月	アクシデント	R7.2.23 南側 居室前を一人で歩かれているのを発見する。急いで駆け付けたが間に合わず、転倒し左手を床につかれた。祭日の為上天草総合病院 整形外科が休診のため、救急外来にて検査される事 ・骨折だった場合、天草地域センターに転送になる事。また、転送になった場合、看取り期でもあり、身体の負担ある事をご家族に報告し、受診について相談すると、ご家族より「わかりました。明日、上天草総合病院の受診をお願いします。明日は付き添いできませんが、本日面会に伺います」との返答あり。翌日、上天草総合病院 整形外科受診。検査の結果、左橈骨尺骨骨折との診断ある。	・転倒リスクの高い方とその場面を洗い出し、対応について検討し情報を共有する ・転倒されるリスクが高くなっておられる方については、ご家族へも報告し、そのリスクについて話し合っていく
2月	アクシデント	一人でトイレまで行かれるが他の方が使用されていた為、押し車に座ろうとされるが、座り損ねて右臀部を下にする形で転倒された。転倒後すぐに痛みや怪我・動作等の確認を行う。出血はなく、右大腿部付近に内出血あり。立ち上がり動作に問題はなかったため、様子観察する。翌日、右大腿部周辺に痛みがあった為主治医に報告。天草地域医療センター 整形外科を受診するように指示ある。天草地域医療センター 整形外科受診。検査の結果、右大腿骨転子部骨折との診断あり、手術目的で入院となる。	・トイレ前で待たれる時に座れる椅子を準備する ・押し車の座面に座って転倒する危険がある方は、座面がないタイプの押し車を使用する ・食後、中央トイレは混雑することが多い為、自分でトイレに行かれる方は、少し離れた場所のトイレへもご案内する

2月	アクシデント	・令和7年2月27日10時に上天草総合病院に仙骨部褥瘡にて受診。皮膚科宮下梢医師より、仙骨部の褥瘡部位切開され、溜まっていた膿をとられる。悪臭があり抗生剤治療が必要な為入院される。入院に至る状況を福岡市在住の●●様(娘)に報告する。	・褥瘡の早期発見に繋げる為、毎日の臀部皮膚状態の確認、記録の徹底を行う。 ・皮膚状態に悪化みられる場合、早期受診を行う。場合によっては上天草総合病院皮膚科以外の受診も検討する。 ・退院後、臥床時、身体の向きやマット等の使用を再度明確にし(写真)職員へ周知する。
3月	インシデント	食事介助中、左手甲に縦0.5mm×横1.5cmの表皮剥離を発見する。血液や傷口はすでに乾燥していたので、時間経過していると思われる。他に怪我等ないか確認すると、右手親指の爪に血液が付着していた。杉嶋看護師へ報告し処置実施。	・爪は伸びていないが、伸びている時は切る。 ・ベッド上での体位変換時、身体はベッドの中心にあるかを確認し、手や膝が柵に当たらないよう注意する。
3月	インシデント	パッド確認を行いズボン上げる時、手が●●様の右手の甲(保護処置部)にあたり表皮剥離させてしまった。逆L字状の(2cm×2cm)。直ぐに坂口看護師に報告、出血部をティッシュで押さえて止血するように指示を受ける。15:45頃、花田統括主任に報告する。	・褥瘡の早期発見に繋げる為、毎日の臀部皮膚状態の確認、記録の徹底を行う。 ・皮膚状態に悪化みられる場合、早期受診を行う。場合によっては上天草総合病院皮膚科以外の受診も検討する。 ・退院後、臥床時、身体の向きやマット等の使用を再度明確にし(写真)職員へ周知する。
3月	インシデント	お楽しみ会準備について、宮崎栄養士がスタッフルームのホワイトボードを見て「お楽しみ会は16日となっていますが、私は19日だと思っていました。」と話される。年間計画では19日となっており、現時点で行事計画は未提出、宮崎栄養士にも連絡をしていなかった。「1その日のおやつは生物だから止められない、同じような事が以前もあった、一度不適合報告書を作成し、改善すべき」と指摘を受ける。	・計画段階で実施予定日が決まったら、まず宮崎栄養士へ報告し、実施可能か確認をする。 ・計画段階で、行事計画書を余裕を持って提出する。 ・年間計画の確認と変更あれば、早めに栄養士へ連絡する。
3月	意見・苦情	・ケアや接し方、態度が悪い職員がいる。また他の職員と介助方法が違ったり、介護のやり方が荒く痛い時がある。	・特定の介護職員含め、ケアや職場での態度等、接遇改善が必要な職員に対し面談の機会を設け、具体的に悪い箇所を明確にした指導を定期的に継続して行う。 ・今後指導注意しても改善見られない職員に対しては、施設長へ遅延することなく報告し、人事異動、もしくは処罰の対象となりえるのかも検討し迅速に対応する。 ・勤務後に自らを振り返り、ノートに記入し施設長へ提出する。そこから日々の行動の振り返りを継続して行う機会を設ける。

事故 30 件(内アクシデント 5 件)、意見・苦情 6 件

③ユニット型特養

月	事故・苦情・意見の別	概 要	処 置 等
4	インシデント	居室に訪室(新型コロナ感染)。床に転倒されていた。左肘に4cm×1cmの剥離	ベッドを低床にする。 センサー設置し対応する。(コロナ感染期間)
5	インシデント	経鼻栄養提供時、点滴スタンドが倒れそうになり、スタンドを支える際にチューブを抜去する。	点滴スタンドの位置や固定の指再確認をする。
5	インシデント	おやつの賞味期限切れを提供。	冷蔵庫の整理整頓。
8	インシデント	入浴後、右肘に2cmの表皮剥離	着脱時には周囲の確認。
11	インシデント	トイレ誘導時に表皮剥離1cmX1cm	移乗時は周囲の安全確認を行い移乗介助を行う。

11	アクシデント	居室にて転倒骨折	居室の環境設備や整理整頓を実施する。 ヒヤリはつとの報告等での情報から転倒リスクを 職員へ周知し啓発する。
1	アクシデント	薬の誤飲	テーブルの配置変更(1人のテーブル配置に する)
1	アクシデント	薬の誤薬	服薬マニュアル通りに本人の前で読み上げて 提供する。
1	アクシデント	薬の誤薬	服薬マニュアル通りに本人の前で読み上げて 提供する。
2	苦情(要望)	施設での対応について不安があり相談され る。	入居者様への対応を職員間で検討して対応 の打ち合わせとケアプランの検討。
2	苦情(意見)	主治医よりカンファレンスに指示があったがカ ンファレンスを実施されていなかった。	指示を受けた職員は介護支援専門か相談員 へ報告し施設長や主治医に指示に応じた審 議事項をあげ日程調整を行う。
2	インシデント	ベッドからの転倒(ベッド介助バーに背を向け 座っておられる) センサーが切ってあった。	センサーのスイッチは切らない。
2	インシデント	入居者様一人で廊下の手すりで歩行している 時に転倒。	職員が入居者様の所在確認とリハビリの声か けを事前に行い付き添う。
2	苦情(意見)	上天草総合病院ドクターより緊急搬送時の事 前連絡について	搬送先が決まれば事前に搬送先の病院へ連 絡をする。
3	インシデント	居室にて車いすから転倒。	環境設備の整理整頓 入居者様へ車いす座位の安全確認

事故 12 件(内アクシデント 4件)、意見・苦情 3件

④栄養

月	事故・苦情・ 意見の別	概 要	処 置 等
4月	インシデント	サラダへの毛髪の混入	盛り付け時の器・食品の目視確認と丁寧な粘 着ローラー掛けの実施
6月	インシデント	ショート利用者への食事提供モレ	申し送りノートの確実な確認
9月	インシデント	ショート利用者への食事提供モレ	6月と同様の不適合。「短期入所利用受付」の ファイル作成。厨房内ボードと照合し利用開 始・利用終了の日付を消していく。
9月	インシデント	敬老会の日のナリコマ食材を発注(ユニット分)	栄養士室ホワイトボードでの最終確認日とキャ ンセル済シールでの確認。
11月	インシデント	栄養補助飲料の発注モレ	発注者と別の職員が確認。
1月	インシデント	使用しない食形態の食材を発注	栄養士間でのダブルチェック。

事故 6 件(内アクシデント 0件)、意見・苦情 件

【2】介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム翔洋苑）

(1) 施設利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用実人員	要介護1	0	0	0	0	0	0	0
	要介護2	1	1	1	1	1	1	1
	要介護3	5	6	6	7	7	6	6
	要介護4	21	20	21	17	17	18	18
	要介護5	3	3	3	5	5	5	5
	合 計	30	30	31	30	30	30	30
利用延人員	要介護1	0	0	0	0	0	0	0
	要介護2	30	31	30	31	31	30	31
	要介護3	118	154	174	202	211	163	166
	要介護4	578	586	496	473	511	526	528
	要介護5	86	93	90	155	155	150	155
	合 計	812	864	790	861	908	869	880
ベッド利用率		90.2%	92.9%	87.8%	92.6%	97.6%	96.6%	94.6%
要介護度Ave.		3.89	3.86	3.82	3.87	3.87	3.92	3.92
		11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
利用実人員	要介護1	0	0	0	0	0	0	
	要介護2	1	1	1	1	1	12	
	要介護3	6	6	5	4	5	69	
	要介護4	18	18	19	20	19	226	
	要介護5	5	6	5	6	6	57	
	合 計	30	31	30	31	31	364	
利用延人員	要介護1	0	0	0	0	0	0	
	要介護2	30	31	31	28	31	365	
	要介護3	170	186	136	92	79	1,851	
	要介護4	506	554	589	480	478	6,305	
	要介護5	150	133	147	164	139	1,617	
	合 計	856	904	903	764	727	10,138	
ベッド利用率		95.1%	97.2%	97.1%	91.0%	78.2%	92.58%	
要介護度Ave.		3.91	3.87	3.94	4.02	4.00	3.90	

(2) 面会者・実習・ボランティア

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
面会者（施設）		18	111	71	71	55	51	83
面会者（短期入所）		0	7	5	0	0	0	3
実習		0	0	0	1	0	2	0
ボランティア		0	0	0	0	0	0	0
		11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
面会者（施設）		67	98	62	69	62	818	
面会者（短期入所）		3	0	6	10	1	35	
実習		0	0	0	0	0	3	
ボランティア		0	0	0	0	0	0	

(3) 短期入所生活介護（介護予防短期・障がい者短期含む）利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用実人員	障がい者短期	1	1	1	1	1	1	1
	要支援1	0	0	0	0	0	0	0
	要支援2	1	1	4	2	2	5	1
	要介護1	5	5	6	6	8	3	8
	要介護2	5	6	4	5	7	7	9
	要介護3	9	8	6	6	7	6	4
	要介護4	0	1	1	1	0	1	2
	要介護5	0	0	0	0	0	0	1
	合 計	21	22	22	21	25	23	26
利用延人員	障がい者短期	3	4	4	6	5	5	6
	要支援1	0	0	0	0	0	0	0
	要支援2	5	3	11	9	16	31	6
	要介護1	41	54	42	0	46	29	53
	要介護2	38	67	44	39	70	91	62
	要介護3	92	73	68	48	101	62	53
	要介護4	0	29	12	48	0	8	16
	要介護5	0	0	0	8	0	0	8
	合 計	179	230	181	158	238	226	204
送迎回数		35	74	101	101	99	89	97
ベッド利用率		59.7%	74.2%	60.3%	51.0%	76.8%	75.3%	65.8%
要介護度Ave.		2.20	2.27	2.11	2.87	2.05	1.90	2.16
		11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
利用実人員	障がい者短期	1	1	1	1	1	12	
	要支援1	1	0	1	0	1	3	
	要支援2	1	3	3	2	5	30	
	要介護1	6	4	6	6	5	68	
	要介護2	6	5	2	2	2	60	
	要介護3	4	4	3	2	4	63	
	要介護4	1	1	1	2	1	12	
	要介護5	2	2	1	1	1	8	
	合 計	22	20	18	16	20	256	
利用延人員	障がい者短期	4	6	5	5	5	58	
	要支援1	3	0	6	0	5	14	
	要支援2	8	10	21	14	25	159	
	要介護1	83	46	72	94	53	613	
	要介護2	46	43	21	14	24	559	
	要介護3	43	43	34	19	32	668	
	要介護4	18	10	10	17	4	172	
	要介護5	13	14	10	6	8	67	
	合 計	218	172	179	169	156	2,310	
送迎回数		85	82	71	57	56	947	
ベッド利用率		72.7%	55.5%	57.7%	60.4%	50.3%	63.3%	
要介護度Ave.		2.02	2.16	1.71	1.64	1.62	2.06	

【3】ユニット型地域密着型介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム翔洋苑ユニット棟）

(1) 施設利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用実人員	要介護1							
	要介護2							
	要介護3	3	3	3	3	3	4	4
	要介護4	8	8	10	10	10	10	9
	要介護5	10	9	9	7	6	7	7
	合 計	21	20	22	20	19	21	20
利用延人員	要介護1							
	要介護2							
	要介護3	90	93	90	93	93	104	124
	要介護4	195	233	231	301	310	276	279
	要介護5	244	278	242	194	186	187	217
	合 計	529	604	563	588	589	567	620
ベッド利用率		88.2%	97.4%	93.8%	94.8%	95.0%	94.5%	100.0%
要介護度Ave.		4.29	4.31	4.27	4.17	4.16	4.15	4.15
		11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
利用実人員	要介護1						0	
	要介護2						0	
	要介護3	4	4	4	4	3	42	
	要介護4	9	8	8	8	9	107	
	要介護5	7	7	7	8	8	92	
	合 計	20	19	19	20	20	241	
利用延人員	要介護1						0	
	要介護2						0	
	要介護3	102	113	115	112	93	1,222	
	要介護4	270	248	239	210	235	3,027	
	要介護5	210	217	217	214	194	2,600	
	合 計	582	578	571	536	522	6,849	
ベッド利用率		97.0%	93.2%	92.1%	95.7%	84.2%	93.82%	
要介護度Ave.		4.19	4.18	4.18	4.19	4.19	4.20	

(2) 面会者

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
面会者		13	70	49	15	12	20	33
		11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
面会者		34	27	23	31	34	361	

Ⅲ. 行事等報告

【1】家族会・運営推進会議等

(1) 特養（従来型特養・ユニット型特養）

期 日	出席者数	審議事項等	備 考
R6.6.30	17 名	① 令和 5 年度 翔洋苑家族会 活動報告 ② 令和 6 年度 翔洋苑家族会 役員の選任 ③ 令和 6 年度 翔洋苑家族会 事業計画 ④ 翔洋苑家族会 会費 ⑤ 令和 5 年度 社会福祉法人姫戸福社会 事業報告 概要（書面） ⑥ 令和 6 年度 社会福祉法人姫戸福社会 事業計画 概要（書面） ⑦ その他	
R6.9.15	18 名	家族会意見交換会	

(2) ユニット型特養（運営推進会議）

期 日	出席者数	審議事項等	備 考
R6.5.30	13 名	【第 1 回ユニット棟運営推進会議】 ① 令和 6 年度 社会福祉法人姫戸福社会 事業経営計画（概要） ② 令和 6 年度 事業報告（4～5 月） ③ 令和 6 年度 行事計画（6～7 月） ④ 事業運営に関する評価、意見等 ⑤ その他	地域交流 スペース
R6.7.30	8 名	【第 2 回ユニット棟運営推進会議】 ① 令和 5 年度 社会福祉法人姫戸福社会 事業経営報告（概要） ② 令和 6 年度 事業報告（6～7 月） ③ 令和 6 年度 行事計画（8～9 月） ④ 事業運営に関する評価、意見等 ⑤ その他	地域交流 スペース
R6.9.27	11 名	【第 3 回ユニット棟運営推進会議】 ① 令和 6 年度 事業報告（8～9 月） ② 令和 6 年度 行事計画（10～11 月） ③ 事業運営に関する評価、意見等 ④ その他	地域交流 スペース
R6.11.28	11 名	【第 4 回ユニット棟運営推進会議】 ① 令和 6 年度 事業報告（10 月～11 月） ② 令和 6 年度 行事計画（12 月～R7 年 1 月）	地域交流 スペース

		③ 事業運営に関する評価、意見等 ④ その他	
R7.1.30	10 名	【第 5 回ユニット棟運営推進会議】 ① 令和 6 年度 事業報告（12 月～ R7 年 1 月） ② 令和 6 年度 行事計画（2 月～ 3 月） ③ 事業運営に関する評価、意見等 ④ その他	地域交流 スペース
R7.3.28	13 名	【第 6 回ユニット棟運営推進会議】 ① 令和 6 年度 事業報告（2 月～ 3 月） ② 令和 6 年度 行事計画（4 月～ 5 月） ③ 事業運営に関する評価、意見等 ④ その他	地域交流 スペース

（3）苦情処理等の第三者委員会への報告

期 日	出席 者数	審議事項等	備 考
R6.6.3	4 名	【令和 5 年度 苦情処理状況等の報告】 ①苦情（相談・要望・意見）について （社会福祉法人 姫戸福祉会） ②苦情（相談・要望・苦情） に関する意見、評価	家族介護者 教室

【2】行事報告

（1）従来型特養

No.	期 日	行 事 名	出席 者数	備 考
3	R6.5.2 ～5	菖蒲湯	30 名	
4	R6.5.17	お楽しみ会（フルーツゼリー）	34 名	
5	R6.6.18	お楽しみ会（フルーツポンチ）	31 名	
12	R6.7.18	お楽しみ会（すいか）	34 名	
13	R6.7.21	アイスクリームを食べよう	35 名	
14	R6.8.14	お楽しみ会（アイスクリーム）	33 名	
15	R6.8.15	従来型・ユニット型 お盆追悼法要	36 名	
17	R6.9.15	敬老会	35 名	
18	R6.9.17	お月見	6 名	
19	R6.9.27	お楽しみ会（ゼリー・プリン）	36 名	
20	R6.9.22	二間戸ドライブ	2 名	
21	R10.26	ふるさと訪問	1 名	
22	R6.10.18	お楽しみ会（ふかし芋）	36 名	
23	R6.10.30	合同誕生会		
24	R6.11.27	姫戸小学校 4 年生との交流事業	36 名	小学生 8 名

25	R6.11.3	姫戸町民文化祭見学	7 名	
28	R6.11.10	永目ドライブ	3 名	
29	R6.11.19	お楽しみ会（肉まん・あんまん）	35 名	
33	R6.12.7	ふるさと訪問	2 名	
38	R6.12.24	お楽しみ会（ケーキ）	34 名	
39	R6.12.11	ふるさと訪問（自宅で誕生会実施）	4 名	
40	R6.12.19	従来型 忘年会	30 名	
41	R6.12.22 ～24	ゆず湯	30 名	
42	R6.12.25	お茶会	28 名	
43	R7.1.1～7	初詣	7 名	
48	R7.1.19	お楽しみ会（フレンチトースト）	34 名	
49	R7.1.26	どら焼きを作ろう	35 名	
50	R7.2.2	節分	37 名	
51	R7.2.19	ドーナツを食べよう	29 名	
52	R7.3.27	合同誕生会	1 名	ご家族面会
53	R7.3.23	たこ焼きを作ろう	29 名	
54	R7.3.30	ドライブ	2 名	

（２）ユニット型特養

No.	期 日	行 事 名	出席 者数	備 考
1	4/21	スイーツの日	17 名	
4	5/2～5	菖蒲湯	20 名	
5	5/12	スイーツの日	17 名	
6	5/28	ふるさと訪問	1 名	
7	6/11	スイーツの日	17 名	
9	7/2	七夕飾り作成	17 名	
11	7/7	七夕飾り付け	17 名	
12	7/12	スイーツの日	18 名	
14	7/28	ふるさと訪問	1 名	
16	8/4	夏祭り	20 名	
18	8/15	お盆の法要（従来型にて）	15 名	
19	8/19	故郷訪問	1 名	
20	8/21	故郷訪問	1 名	
21	9/1	故郷訪問	2 名	
22	9/10	スイーツの日	18 名	
23	9/13	手作りの日	18 名	
24	9/15	苑敬老会	19 名	
26	10/10	スイーツの日	18 名	

27	10/8	手作りの日	19 名	
30	10/24	出前の日（弁当）	2 名	
31	10/27	姫戸町町祭り（神輿見学）	20 名	
32	11/3	姫戸町文化祭	3 名	
33	11/6	故郷訪問	1 名	
35	11/9	コスモス見学	1 名	
36	11/10	スイーツの日	19 名	
37	11/17	コスモス見学	2 名	
38	11/27	小学生ボランティア	20 名	
39	12/10	スイーツの日	19 名	
41	12/19～21	ゆず湯	20 名	
42	12/23	ユニット忘年会	19 名	
43	12/25	クリスマスケーキ作り	14 名	
44	1/1～7	初詣	9 名	
46	1/12	スイーツの日	19 名	
49	1/19	故郷訪問	1 名	
51	2/3	節分豆まき	18 名	
52	2/10	スイーツの日	19 名	
55	3/3	雛祭り	20 名	
56	3/10	スイーツの日	19 名	
59	3/29	手作りの日	19 名	

（３）栄養調理

月	日(曜日)	①行事名	②実施献立	③評価等
4	1（月）	開苑記念祝い膳	赤飯	本日より従来型・デイサービスもナリコマのクックチルへ移行。赤飯は施設で炊きお祝いをした。
	19（金）	お刺身の日	鯛の刺身・アラ汁	ナリコマ食に一品追加で提供した。好評である。
5	3（金）	豆ごはん	豆ごはん	旬の食材を使用した炊き込み御飯を提供し季節を感じていただいた。
	20（月）	お刺身の日	鯛の刺身・アラ汁	喜んでいただいた。
	29（水）	とろろ御飯	とろろ御飯	暑くなってきた時期の、さっぱりと食べていただけた。
	31（金）	ちらし寿司	ちらし寿司	ナリコマの在庫の冷凍食材を活用し、トッピングを多く豪華に提供できた。
6	7（金）	手作り昼食	肉じゃが・春雨の辛子酢和え・そば汁・バナナ	旬の新じゃが、新玉葱を使った肉じゃがを提供。ナリコマとなり生

				の果物が少ないため食べやすいバナナを提供した。
	18（火）	手作り昼食	おにぎり・焼きそば・トマトの大葉和え・コンソメスープ・フルーツクリーム	麺類は好まれ、ナリコマでは今までないメニューの焼きそばを提供。
	28（金）	手作り昼食	カレーライス・キャベツのごま和え・トマトスープ・フルーツゼリー	カレーライスの具材が多かった。フルーツゼリーがやわらか過ぎた。
7	9（火）	手作り昼食	おにぎり・とろろそば・南瓜のそばろ煮・なすと茗荷の和え物・すいか	冷たいとろろそばのつもりだったが連携がうまく取れておらず検食前にだしを冷やし対応。トッピングの山芋・おくら・なめこはもう少し増やした方が良かった。小鉢の量はもう少し少なくてよい。
	19（金）	手作り昼食	とうもろこし御飯・肉みそうどん・揚げなすの卸し煮・コーヒゼリー	とうもろこしが少なかった。うどんのトッピングのトマトが少なかった。なすが多かったが味付けは好評だった。
	25（木）	手作り昼食	赤山のかき揚げ・ポテトのヨーグルトサラダ・冷しソーメン汁・フルーツポンチ	赤山のかき揚げは好評で、DSの利用者様で食の細かい方より「食べてしまった。美味しかった」との声をいただいた。
8	4（日）	夏祭り	いなり寿司・鶏の唐揚げ・お好み焼き・焼きそば・カレーライス	室内での夏祭り。ナリコマに移行してから初めてでもあり、ナリコマ食材を活用し少ない職員で対応できる内容を検討。バザーに補充するタイミング等検討が必要であった。
	12（月）	手作りおやつ	ところてん	季節感を感じていただくように心太を提供。量が多く一鍋では時間がかかったため分けて作るとよいのではないかと。
	23（金）	手作り昼食	夏野菜カレー・わかめのサラダ・おくらかき玉汁・フルーツヨーグルト	カレーの盛り付けは良かった。全体的に量が多かった。
9	15（日）	敬老会	いなり寿司・卵巻き・ステーキ・刺身・炒り鶏・茄子とトマトのサラ	久々に実演を交えお弁当箱での提供。

			ダ・鯛の吸物・ケーキバイキング	
	16 (月)	DS 敬老行事食	ナリコマ敬老食・マンゴープリン	ナリコマの行事食にデザートと追加して提供
	17 (火)	DS 敬老行事食	松茸御飯・松茸吸物・苺プリン・ナリコマ食	厨房にて松茸御飯を炊き、盛り付けはデイホールで行った。
	18 (水)	DS 敬老行事食	松茸御飯・松茸吸物・マンゴープリン・ナリコマ食	前日と同様対応。
	24 (火)	手作り昼食	稲荷寿司・焼きうどん・小松菜ととろろのお浸し・さつま芋の豚汁	小松菜のお浸しがあっさりとして美味しかった。
10	9 (水)	お刺身の日	鯛の刺身・アラ汁	久しぶりのお刺身を喜ばれた。
	24 (木)	手作り昼食	きのこ御飯・鶏肉の磯辺揚げ・さつま芋のサラダ・だご汁	鶏むね肉だったが柔らかく出来ていた。だご汁が好評だった。
11	8 (金)	お刺身の日	鯛の刺身・アラ汁	刺身は好評。
	14 (木)	手作りおやつ	クリームサンドパン	在庫のホイップクリームを活用しロールパンに挟んで提供。手や口にクリームをつけながら食べておられた。
	21 (木)	手作りおやつ	鬼まんじゅう	旬のさつま芋と使ったおやつを提供。「美味しい」と好評だった。
12	14 (土)	手作りおやつ	さつま芋とりんごの甘煮	ナリコマのカットりんごを活用しおやつとして提供。
	18 (水)	手作り昼食	炊き込み御飯・かき揚げ・ほうれん草のごま和え・豆腐の清汁・抹茶ババロア	かき揚げは揚げりすぎて硬くなっていた。以前のような味付けで美味しかったとの声をいただいた。
		DS 忘年会	上記のデザートケーキバイキングへ変更	野菜が軟かく食べやすいや汁物が美味しいとの声があった。ケーキバイキングは赤い色の苺が好評だった。
	19 (木) 20 (金)	DS 忘年会	稲荷寿司・巻き寿司・ナリコマ副菜・ケーキバイキング	ナリコマの食事に、主食を冷凍寿司に替え提供。
	24 (火)	お刺身の日	鯛の刺身・アラ汁	好評。
1	1 (水)	お節料理	赤飯・有頭海老の旨煮・合鴨スモーク・ほたて煮・数の子・寿高野の煮物・伊達巻き・絵馬蒲	ナリコマ導入後初めてのお節料理である。昼食はナリコマのお弁当箱を活用。朝食の副食の品数が多くバタついた。来年度

			銚・花三色・カニカマ・六角里芋煮・昆布巻き・黒豆煮・若桃の甘露煮・栗きんとん	は品数の調整を検討する。
	7 (火)	七草	七草粥・南瓜のそばろ煮・白和え・かきたま汁・バナナ	七草粥は優しい味わいだった。南瓜がホクホクして好評だった。
	22 (水)	手作り昼食	あおさおにぎり・焼きラーメン・白菜のごまサラダ・中華スープ・チョコレートババロア	ナリコマの冷凍ラーメンを活用。特養からは麺の量が多いとの指摘をいただいた。
	28 (火)	お刺身の日	鯛の刺身・アラ汁	好評。
2	14 (金)	お刺身の日	鯛の刺身・アラ汁	ソフト食の方へは刻んで提供していたが口腔内へ残る様子。来月から煮付けで提供する。
	20 (木)	手作りの昼食	キーマカレー・春菊とツナのみぞれ和え・コンソメスープ・フルーツヨーグルト	ナリコマの冷凍大根おろしを活用。みぞれ和えは味が濃く量が多かった。フルーツヨーグルトは果物の量が多くても良かった。
3	11 (火)	お刺身の日	鯛の刺身・アラ汁	好評。
	26 (水)	手作り昼食	肉団子の甘酢あんかけ・キャベツのナムル・中華スープ・バニラババロア	全体的に寂しかった。主菜のあんめの野菜はみじん切りより小口切りの方が映えたのではないかな。また、付け合わせがあった方がよかった。ナムルは小さめの小鉢に盛りつけてありより寂しく感じた。器の選定も大切である。

V. 研修会議等

【1】施設内研修

(1) 総務

No.	期 日	研 修 名	研 修 概 要	出席者数	備 考
1	4/3.4 8/20.21. 23.24 25.27 31. 9/13.14 .2/19.22 .	入職時研修	・介護 BCP ・身体拘束排除の知識 ・虐待防止に関する理解 ・事故防止の知識 ・事故・緊急時対応（転倒・転落） ・感染症・食中毒の予防及び拡大防止の知識 ・認知症の理解 ・認知症者とのコミュニケーション法・ユマニチュード ・褥瘡のしやすい箇所	4 名	
2	4 月 1 2 日	虐待の防止のための従業者に対する研修	施設内における虐待事案について検討会	23 名	
3	4 月 2 2 日	虐待の防止のための従業者に対する研修	虐待の再発防止に向けた研修	27 名	
4	4 月 2 5 日	虐待の防止のための従業者に対する研修	翔洋苑における虐待事案の発生に関する再発防止について	16 名	
5	5 月 1 6 日	虐待の防止のための従業者に対する研修	・職員アンケートにおける発生要因と再発防止策について ・再発防止策の部署内における具体的取組みの取りまとめ ・社会福祉法人姫戸福祉会就業規則の概要（服務）について ・誓約書の提出について	23 名	
6	5 月 3 1 日	虐待の防止のための従業者に対する研修	・虐待防止研修（外部講師 熊本県介護福祉士会会長 石本淳也氏）	50 名	
7	6 月 14.18.24 日	医療的ケアの研修	・口腔内のたんの吸引手順書について再度ポイントを周知・実践 ・評価表を使用し、他者の手	8 名	14 日 8 18 日 9 24 日 3

			順をチェックし、再度自分の実践と見比べて実践 ・医療的ケア口腔内たん吸引について動画視聴		
8	6月25日	自然災害に関する事業継続計画に係る研修、及び各事業所の優先業務の確認（図上訓練）、並びに土砂災害に関する避難確保計画の説明、確認（図上訓練）	・「自然災害に関する事業継続計画（BCP）」の優先業務の検討・選定、確認等（図上訓練）について ・「自然災害に関する業務継続計画（BCP）」の備蓄品検討リストの確認、及び災害時利用者一覧表、各事業所サービス休止・縮小基準について ・「土砂災害に関する避難確保計画」について、及び「警戒レベルと防災気象情報発令時の入所者避難等の対応」について	37名	
9	7月25日	メンタルヘルス推進計画による職員研修	メンタルヘルスケア（外部研修 保健師 杉田ひとみ氏）	61名	研修会 38 ビデオ 23
10	8月23日	・褥瘡対策に関する継続的職員研修 ・認知症ケア	・褥瘡のしやすい箇所 ・認知症者とのコミュニケーション法 2 ユマニチュード②	30名	
11	9月6日	・集団指導説明会の報告	・従来型特養 ・ユニット型特養	30名	
12	9月25日	・非常災害対策訓練 ・看取り介護研修	・消火、通報、避難誘導訓練 ・看取り介護指針	21名	
13	10月25日	身体的拘束の適正化、虐待の防止に係る研修	・身体的拘束について ・虐待の防止について ・グループワーク	44名	
14	10月28.30日	CPA 訓練	・容態急変時対応マニュアルに基づく行動確認と実施 ・救急隊員指導（心臓マッサージ、AED 使用訓練）	45名	10/28 27 10/30 18
15	11月25日	・事故発生防止のための従業者に対する研修	・事故を未然に防ぐには ・个人防护具（PPE）の着脱について（説明および実技）	43名	

		・感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための研修・訓練	・ノロウイルス対策、嘔吐物の処理方法について（説明と実技）		
16	12月25日	人権学習（ハラスメントについて）	・人権学習講座 人と組織を壊すパワーハラスメント（外部講師：上天草市教育委員会 濱崎富雄氏）	33名	
17	1月6日	・自然災害発生時における業務継続計画（BCP）について ・自然災害発生時における訓練について ・感染症等発生時における業務継続計画（BCP）について	・BCP改訂版の概要説明 ・災害発生時の行動基準「安否確認メール」による安否確認の実施	38名	
18	1月24日	事故発生防止のための従業者に対する研修	・リスクマネジメント危機管理（ヒヤリハット≠インシデント）	39名	
19	2月25日	・メンタルヘルスケア ・結核について	・心と体を元気にするボディトーク（外部講師 保健師 杉田ひとみ氏） ・結核について（看護師 堀江真紀子）	39名	